

赤いゆりかご

かつて山口百恵主演のテレビドラマで「赤いシリーズ」がありました。今回は百恵ちゃんの話ではなく、赤ヘルカープの話です。

師走の風が吹き始めた頃、カープの主砲、丸選手の巨人への移籍が報じられました。巨人が提示した年俸は五年契約の25億。貧乏球団カープにはとても払える金額ではありません。従来カープでは年俸が2億を超えると、働き盛りの主力が、広島を去るケースがみられます。巨人に行った主砲江藤、阪神に行った金本、新井。大リーグに行った黒田や前田健太もそうでした。端的に言えば広島カープには、3億以上の高額選手を数年にわたり抱える体力がないのです。

そんな貧乏球団が三連覇出来るのは、確かなスカウトの

目と育成システムがあるからです。原石を掘り当て、丁寧に磨き上げる風土は他球団の追随を許しません。鉄人衣笠祥雄、連続安打の高橋慶彦、天才前田智徳、現監督の緒方孝市、先の江藤智也や丸佳浩。そして現在の4番鈴木誠也。彼らは皆、高卒でカープのユニホームを着、球史に名を残すことになりました。しかし、例えば丸選手が最初から巨人に入団していたら、今の丸佳浩はなかったと思えます。

今回の丸の移籍について、金持ち球団の横暴を怒ったり、貧乏球団の悲哀を嘆いたりするのは的外れです。広島カープは幾多の名選手を育て、他球団に供給する「球界のゆりかご」なのです。それでいて、優勝できる素敵な球団なのです。新しい年は、そんな大きな心で迎えたいと思います。